

縣 第三 號

四月二日

結

受領
番頭

寺方官三三三

廳名 時台傳山樓調査書

件名

寺務調査書

大臣

委 次官

高級副官



主務副官上計



次支又回書案

七月二日付東京縣方官三三三の申す調査書に於て調査書
成り台傳山樓調査書は行方送て本年七月
末期に於て送付せられたるものと
所記の申すに於て送付せられたるものと
扱ふべき所は行方送て本年七月
末期に於て送付せられたるものと
扱ふべき所は行方送て本年七月

七月七日

陸軍省

送甲第三八一

號



陸軍省 五.

陸軍省 五.

陸軍省 五.

陸軍省 五.

陸軍省 五.

計 陸軍省 五.

陸軍省

旧京發第六号

陸軍省第四三三號

七月六日

臨時台灣旧慣調査報告(清國行政法第一卷)告成其付
参考ノ為ノ在滿州各軍政署ニ寄送致度就ハ貴省ニ
御送付方法取申相成其様致度候間所要部數、京都
帝國大學法科大学内旧慣調査會宛法回報相煩度候
及涉昭會様也

明治三十八年七月五日

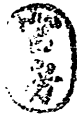
臨時台灣旧慣調査會長後藤新



陸軍次官石本新六殿

0429 0430

東京調子
 密月送舟後調査清口行政未着趣
 法監令了承早速通運社取調然必
 右本月一日既に配達了了レ故赴キ依る
 貴省に到達致居候事、存候旨再々
 法取調相本交宛名、改定宛ニ候旨
 念申添付申
 明治三十八年八月廿四日



0431

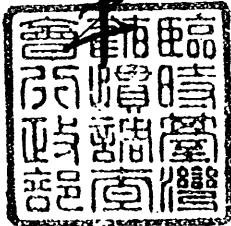


旧京發才六辨

七月七日附送甲第三一號法回卷と敷了風
就法所望と通、四松部本日通運便、孰送付
法条法查收相成度此後及法通知抄也

明治二十八年七月二十二日

臨時台灣旧慣調査会長後藤新平



陸軍次官石本新六殿

0432



受番 領號	吉外三三三号	署名 東京史料大博覧會 臨時古物調査會
件名	臨時古物調査會報告送付方ノ件	
大位	次官 委	主務副官 高次副官
決	参事官	主務副官
裁	主務課長	主務課員
主務局長 受領 明治 年 月 日	聯帶局長	聯帶課長
明治 年 月 日 聯帶局長 署名		

閱

高次副官より高知帝國大學法科大學
内田博調査會長、照會状

昨年七月廿五日、慣調査報告、郵部発送、
与通郵後、久未着、付同合、及日京補送、
六号、福書、ラッ送付満、与回答、接し、
今以テ到、速ニ良、分途中、以達、
モノト在、衆、若シ、接、本、有、之、ハ、
度、非、五、照、會、也、
追テ、女、困、難、ノ、事、情、有、之、ハ、今日、
日京、郵、部、今、号、照、會、ノ、事、以、希、望、
ノ、必要、ニ、付、之、以、有、之、事、中、
送、送、

陸軍省 送甲第一八一號

三月六日



0434

大臣	件名	受領番	主務局課		決裁	大臣	次官	高級副官	主計	主務副官	主務局長	主務課長	主務課員	房官大臣
		號領	番號	提出										受領
	臨時多摩河川修築工事	明治九年四月五日	明治九年四月四日	明治九年四月五日			次官	高級副官	主計	主務副官	主務局長	主務課長	主務課員	明治九年四月五日

閱

送
見

う送中、糸口至相ふりあふ

陸奥省 送乙第六の七 號

四月五日



冬陽市部

七部

五方信之部

七部

采女信之部

十五部

采女信之部

十部

山三信之部

五部

日

七部



采女信之部

七部



七部

陸奥省

未結

水官



0437

同前調牙前号の内

三月廿九日

送甲子一八号法照會之件再取調取分別
紙端在王通了石本次有宅八余之依り能達於遊
申出於身忘年石回答於下相送新接了付
令一急法取調取申取交、也

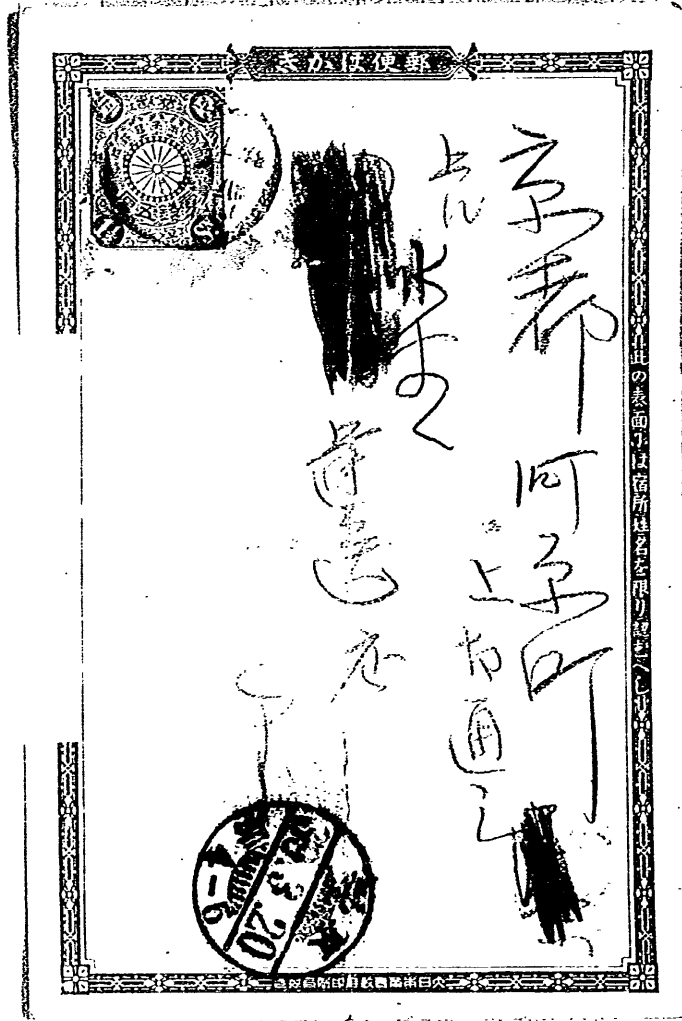
明治三十九年三月廿九日

臨時台灣慣習調査会行政部



陸軍省副官立花小一郎收

0438 0439



表上

裏

